

佐野短期大学シラバス2013

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
障害者スポーツ論 Adapted Sport therapy		1年	前期	月曜日 4、5時限
単位数	授業の形態		授業の性格	
2単位	講義	選択 (選択 ・ 資格課程必修 (初級障害者スポーツ指導員))		
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
障害者スポーツ演習				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特に無し				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
斉藤智子	非常勤講師室	月曜日14：30～17:40		授業中に指示します
授業の概要				
介護施設や運動施設には多くの障害者がいる。その障害者の運動機能の維持・向上や精神機能を賦活化させるために運動・スポーツは大変有効な療法として広く認知されている。障害者の障害を知識として理解することにより、優れた対応ができる人材養成を図る事を目的とする。また障害者スポーツのルールや競技等の世界を知り、障害を越えた”生き甲斐”を求めてスポーツに取り組んでいる人々への理解を深める機会とする。				
授業の到達目標				
障害者の運動機能の理解や取り巻く制度や各種大会の理解をすることができるようにする。 実際に障害が身体を動かす際に困難となる状況を体験し、その克服方法を理解できるようにする。				
授業の方法				
前期：教室での理論 後期：体育館やプール等による実習。および障害者との交流を体育館で行う。				
学習の成果				
①障害の区分や生理的側面が理解することができる。 ②障害者制度が理解することができる。 ③障害者スポーツ援助の知識を身に付けることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	障害者福祉施策と障害者スポーツ①			
第2回目	障害者福祉施策と障害者スポーツ②			
第3回目	リハビリテーションとは①			
第4回目	リハビリテーションとは②			
第5回目	ボランティア論①			
第6回目	ボランティア論②			

第7回目	障害者スポーツの意義と理念①	
第8回目	障害者スポーツの意義と理念②	
第9回目	安全管理	
第10回目	日本障害者スポーツ協会資格認定制度	
第11回目	全国障害者スポーツ大会の概要①	
第12回目	全国障害者スポーツ大会の概要②	
第13回目	障害者スポーツの意義と理念③	
第14回目	障害者スポーツの意義と理念④	
第15回目	まとめ：前期理論の復習・補習・試験	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	授業態度から判断
レポート	30%	テーマに対して小論文を書き、「障がい者スポーツ」への理解度を確認する。
調査報告書		
小テスト		
中間・学期末試験	40%	前期講義内容の理解を確認
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
教科書：「障害者スポーツ指導教本 初級・中級」（財）日本障害者スポーツ協会編 授業担当者より適宜指示または資料を配布する		
履修上の心得・ルール		
初級障害者スポーツ指導員資格取得必須科目。意欲・積極性・人間性重視。		